

EPA外国人介護人材の育成に関する事例紹介

社会福祉法人 佐久福寿園

特別養護老人ホーム 佐久福寿園



介護サービス部長 原田 明恵

介護主任 松田 麻衣

佐久福寿園(長野県佐久市)



特別養護老人ホーム 佐久福寿園
1981年(昭和56年)4月より事業開始
従来型 50床
2016年(平成28年)10月より全室個室ユニット型特養 100床

その他の事業
短期入所
居宅介護支援事業所
岩村田デイサービスセンター
介護予防事業
全て同敷地内

職員数 78名



EPA

インドネシア2名 2020年入国 2021年6月就労開始
⇒次回（第37回）の国家試験受験！

インドネシア2名 2023年入国 2023年12月就労開始

計4名

～受入れ準備～

2021年

- ・研修センターへ面会
3月 日本語力の確認と住居、準備をする物の確認
5月 生活用品確認 就労開始後の予定説明
- ・職員への説明 ご家族や利用者へのお知らせ



～受け入れ準備～

各担当準備

○研修・学習担当

- ・日本語学習（部長 介護主任） 専門的研修 業務研修）
佐久大学で介護の日本語授業見学 研修プログラム作成
- ・業務研修（介護主任 フロアリーダー）
ユニットリーダー、アセッサーなどを含めた1フロア4～5人で担当
業務マニュアルの見直し
日本語理解力に応じた業務マニュアルを個別に作成
指導方法の統一
例）指導者同士の認識のズレ、伝え方の違いを防ぐため必ず2名の職員で対応
EPAの個人差への対応（日本語力、習得のスピード等...）

○生活面担当（部長 事務員）

- 各手続き 買い物支援 生活のルール作成
佐久大学、佐久市介護保険課、移住交流推進課との情報共有

～受入れてから～

生活について

- 職員との食事会
- 佐久市の相談担当者面談
デマンドタクシー マイナンバーカード
予防接種問診票 生活相談 イベント情報提供等...
他の施設との交流や勉強会
- 週1回ボランティア団体による佐久市日本語教室
ゴミの出し方 予約の入れ方 受診の仕方 地域の季節の行事等



～受入れてから～

学習・研修時間



1年目～ 日本語及び日本文化等の習得学習

2年目～ 介護知識及び介護福祉士資格受験に向けての学習
(毎日1時間 介護業務の習得状況や指導担当者の勤務に応じて調整)

3年目～ 介護福祉士国家試験の受験対策学習
国試受験の年度から学習時間を1日2時間

◎地域のボランティア団体による日本語教室

日常生活や日本文化の理解、日本語の習得を目的とした日本語教室
ゴミの出し方 予約の入れ方 受診の仕方 地域の季節行事等…

◎佐久大学

介護で使う日本語 文法等…
jicwelsの定期テスト結果等を参考
職員への指導アドバイス



仕事と学習の経過

	仕事	介護技術OJT・日本語学習
1～2ヶ月目	<p>利用者をフルネームで呼ぶ 名前を漢字で書く、読む マンツーマン指導で毎日振り返り実施 ユニットで介護技術を実践 早出と遅出2種類の勤務から開始</p>	<p>基本の介護技術の実技指導 現場での実践を繰り返し、基本と応用を身につける</p> <p>テキストやドリルで漢字の読み書き練習</p>
3～6ヶ月目	<p>食事の配膳 食事、入浴、排泄などの介助全般の習得 介護記録の練習（Ipad入力） マンツーマン指導継続</p>	<p>介護技術のテスト 定期的に外出し地域や日本の文化に触れる 法人の定期会議や弁護士による法律勉強会等への参加 書類の書き方、緊急時の対応、内線や面会の対応練習 一人勤務に向けて準備</p>
7～10ヶ月目	<p>一人勤務を徐々に開始 月ごとに目標を決めて指導 一人勤務に慣れてきたら勤務の種類を増やす</p>	<p>1日1時間の学習を確保 介護記録の振り返りや介護技術のチェック継続 定期的に面談しメンタルフォロー</p>
2年目～	<p>夜勤業務開始</p>	<p>国試勉強</p>

振り返り日誌・日本語学習シート

令和 6年 月 日 () 指導担当者 ;
現場で実践したこと (いつ、誰の介助を、どのように行ったか)
どんな声かけをしましたか？
注意したことは何ですか？
それはなぜですか？
【カンファレンスで聞き取ったこと】 ※利用者名と内容を記入。聞き取れない時は指導者に確認しましょう。

O J T 予定表

(計画表 ・ 実施表)

目標	①両ユニットの利用者全員から意向を一つ聞いて（見つけて）意向収集シートに記入することができる。 ②〇〇〇〇様の3カ月モニタリングを記入し、カンファレンスで伝えることができる。	① 達成できた 達成できない ② 達成できた 達成できない	月 日評価
----	--	--	-------

年 月

日	勤務	OJT・日本語学習	勤務内学習 (時間)	学習実施時間	学習実施内容	備考
1日	夜勤			: ~ :	昼礼・カンファ	
2日	休み			: ~ :	昼礼・カンファ	
3日	A	14:00~15:00 自己学習	1	: ~ :	昼礼・カンファ	
4日	休み			: ~ :	昼礼・カンファ	
5日	I	国試テスト・解説、jicwelsテスト、自己学習等	8	: ~ :	昼礼・カンファ	
6日	M			: ~ :	昼礼・カンファ	
7日	夜勤			: ~ :	昼礼・カンファ	
8日	夜勤			: ~ :	昼礼・カンファ	
9日	休み			: ~ :	昼礼・カンファ	
10日	A			: ~ :	昼礼・カンファ	
11日	L	14:00~15:00 自己学習	1	: ~ :	昼礼・カンファ	
12日	M			: ~ :	昼礼・カンファ	

EPAを受け入れて…

〈波及効果〉

- ・ 誰が見てもわかる、使えるマニュアルになった。
- ・ 学習意欲がとてもあるため指導する側はやりがいを感じる。
- ・ 根拠をもとに指導するようになった。
- ・ 指導する職員の育成力のスキルアップにつながった
- ・ バラツキのない指導ができるようになった。
- ・ 職員間のコミュニケーションが密になった。

〈気をつけたポイント〉

定期的なメンタルフォローが大切

→施設内だけではなく外部の資源を使いながら、
学習面やメンタルケアを支援
横のつながりのきっかけ作り

学習面（宿題）のチェック

→任せきり、やらせきりにしない

オンライン研修時も時折見に行き、学習の様子を確認

仕事・学習・生活面の担当者を職員一人に任せない

負担や責任の分散

各分野を担当性にして会議等で定期的に報告し共有する

